

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 国会承認 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43402

会
議
母
語

極秘
無期限
部の内
号

大臣秘書官
官房総務参事官
条約課長
安全保障課長

アメリカ局長
参事官
北米第一課長

吉野、スタスター合談

46. 11. 6
米比1

11月6日 在京米大使館 スタスター 公使
(を来訪)

が吉野、アメリカ局長と合談を5行した。2は、
要旨は以下の通り。

1. 概況：
アメリカ局長より、管新益社員(米比)
(22行と12)
次回訪問の機会に、11月15日程度まで回答
し、11月17日照会。2は、公使は検討の上
回答を約束。

2. H.E. (高性能煤炭)：

GA-5

外務省

2

アメリカ局長より、2政府の送來「不」を
沖縄に不測の危険な物資の輸送に
当り、米側は万全の安全措置を講
ずべきと確信している。2はラインの
回答を5行した。2は、米側の審議の進展を
あり、右ラインは2は不十分である。沖縄
に不測の危険な物資の輸送に当り、
万全の安全措置を講ずべきと米側は
確信している。2はラインを以て回答を
すべきと述べ、2は「2」公使に4行を承。
3. P-3：
アメリカ局長より、本件促進を要請。

GA-6

外務省

極秘
無期限
部の内
部

条約課長

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

安全保障課長

防衛施設庁取組の仲屋派遣計画に因り

施設庁鐘江記長の内話

46.11.9

未201.

本件に因り施設庁鐘江記長の摘参事官

12月5日内話せしとて、
記。通り。

1. 復帰準備のため施設庁取組 63名(当初
計画 65名)を 11月15.6日(日)より 12月1日

期(23日11月中に10~20名)
早速11月中に長期出張せしめたり
未測りの了解と12月1日 電請送付した。

与より、早期に取組を出張せしめると認め
るは、F. J. 201 2. 12 (11) 未測りの

GA-5

外務省

2277/1003計

2

感^の度^に ~~感~~ せし等 緊張しつつあり仲屋

現地の状況をも念頭にありつつ 去後計画

12月2日 あり程度 a 弾力性 ありて考慮され
たい旨答へておいた。

2. 与より、自衛隊の展開に予定あり
那覇、⁹オースル地区、¹⁰神¹¹施設地区等

因り所要建設計画作成のため、建設部
関係取組 16名を 12月6日より約6日間

仲屋に出張せしめ計画を予定ありと
これに因り感度如何と質問された。

与より、12月中旬は仲屋口合の
長期と控へたり 仲屋現地にあり

情勢と因り寧ろ進行ありと認め
自衛隊配備計画の一環として 16名の

GA-6

外務省

取組が那覇空港内外で相対地、測量
 等、一般の日に亘り行動をとり、
 自任の上若干の重層に考慮を以て
 ありうべき点を指摘した。更に右時期に
 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170) (171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192) (193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204) (205) (206) (207) (208) (209) (210) (211) (212) (213) (214) (215) (216) (217) (218) (219) (220) (221) (222) (223) (224) (225) (226) (227) (228) (229) (230) (231) (232) (233) (234) (235) (236) (237) (238) (239) (240) (241) (242) (243) (244) (245) (246) (247) (248) (249) (250) (251) (252) (253) (254) (255) (256) (257) (258) (259) (260) (261) (262) (263) (264) (265) (266) (267) (268) (269) (270) (271) (272) (273) (274) (275) (276) (277) (278) (279) (280) (281) (282) (283) (284) (285) (286) (287) (288) (289) (290) (291) (292) (293) (294) (295) (296) (297) (298) (299) (300) (301) (302) (303) (304) (305) (306) (307) (308) (309) (310) (311) (312) (313) (314) (315) (316) (317) (318) (319) (320) (321) (322) (323) (324) (325) (326) (327) (328) (329) (330) (331) (332) (333) (334) (335) (336) (337) (338) (339) (340) (341) (342) (343) (344) (345) (346) (347) (348) (349) (350) (351) (352) (353) (354) (355) (356) (357) (358) (359) (360) (361) (362) (363) (364) (365) (366) (367) (368) (369) (370) (371) (372) (373) (374) (375) (376) (377) (378) (379) (380) (381) (382) (383) (384) (385) (386) (387) (388) (389) (390) (391) (392) (393) (394) (395) (396) (397) (398) (399) (400) (401) (402) (403) (404) (405) (406) (407) (408) (409) (410) (411) (412) (413) (414) (415) (416) (417) (418) (419) (420) (421) (422) (423) (424) (425) (426) (427) (428) (429) (430) (431) (432) (433) (434) (435) (436) (437) (438) (439) (440) (441) (442) (443) (444) (445) (446) (447) (448) (449) (450) (451) (452) (453) (454) (455) (456) (457) (458) (459) (460) (461) (462) (463) (464) (465) (466) (467) (468) (469) (470) (471) (472) (473) (474) (475) (476) (477) (478) (479) (480) (481) (482) (483) (484) (485) (486) (487) (488) (489) (490) (491) (492) (493) (494) (495) (496) (497) (498) (499) (500) (501) (502) (503) (504) (505) (506) (507) (508) (509) (510) (511) (512) (513) (514) (515) (516) (517) (518) (519) (520) (521) (522) (523) (524) (525) (526) (527) (528) (529) (530) (531) (532) (533) (534) (535) (536) (537) (538) (539) (540) (541) (542) (543) (544) (545) (546) (547) (548) (549) (550) (551) (552) (553) (554) (555) (556) (557) (558) (559) (560) (561) (562) (563) (564) (565) (566) (567) (568) (569) (570) (571) (572) (573) (574) (575) (576) (577) (578) (579) (580) (581) (582) (583) (584) (585) (586) (587) (588) (589) (590) (591) (592) (593) (594) (595) (596) (597) (598) (599) (600) (601) (602) (603) (604) (605) (606) (607) (608) (609) (610) (611) (612) (613) (614) (615) (616) (617) (618) (619) (620) (621) (622) (623) (624) (625) (626) (627) (628) (629) (630) (631) (632) (633) (634) (635) (636) (637) (638) (639) (640) (641) (642) (643) (644) (645) (646) (647) (648) (649) (650) (651) (652) (653) (654) (655) (656) (657) (658) (659) (660) (661) (662) (663) (664) (665) (666) (667) (668) (669) (670) (671) (672) (673) (674) (675) (676) (677) (678) (679) (680) (681) (682) (683) (684) (685) (686) (687) (688) (689) (690) (691) (692) (693) (694) (695) (696) (697) (698) (699) (700) (701) (702) (703) (704) (705) (706) (707) (708) (709) (710) (711) (712) (713) (714) (715) (716) (717) (718) (719) (720) (721) (722) (723) (724) (725) (726) (727) (728) (729) (730) (731) (732) (733) (734) (735) (736) (737) (738) (739) (740) (741) (742) (743) (744) (745) (746) (747) (748) (749) (750) (751) (752) (753) (754) (755) (756) (757) (758) (759) (760) (761) (762) (763) (764) (765) (766) (767) (768) (769) (770) (771) (772) (773) (774) (775) (776) (777) (778) (779) (780) (781) (782) (783) (784) (785) (786) (787) (788) (789) (790) (791) (792) (793) (794) (795) (796) (797) (798) (799) (800) (801) (802) (803) (804) (805) (806) (807) (808) (809) (810) (811) (812) (813) (814) (815) (816) (817) (818) (819) (820) (821) (822) (823) (824) (825) (826) (827) (828) (829) (830) (831) (832) (833) (834) (835) (836) (837) (838) (839) (840) (841) (842) (843) (844) (845) (846) (847) (848) (849) (850) (851) (852) (853) (854) (855) (856) (857) (858) (859) (860) (861) (862) (863) (864) (865) (866) (867) (868) (869) (870) (871) (872) (873) (874) (875) (876) (877) (878) (879) (880) (881) (882) (883) (884) (885) (886) (887) (888) (889) (890) (891) (892) (893) (894) (895) (896) (897) (898) (899) (900) (901) (902) (903) (904) (905) (906) (907) (908) (909) (910) (911) (912) (913) (914) (915) (916) (917) (918) (919) (920) (921) (922) (923) (924) (925) (926) (927) (928) (929) (930) (931) (932) (933) (934) (935) (936) (937) (938) (939) (940) (941) (942) (943) (944) (945) (946) (947) (948) (949) (950) (951) (952) (953) (954) (955) (956) (957) (958) (959) (960) (961) (962) (963) (964) (965) (966) (967) (968) (969) (970) (971) (972) (973) (974) (975) (976) (977) (978) (979) (980) (981) (982) (983) (984) (985) (986) (987) (988) (989) (990) (991) (992) (993) (994) (995) (996) (997) (998) (999) (1000)

一般情報

第269号

昭和46年11月22日

1. 福田大臣記者会見(20日)
2. 記事資料(20日)
 - スジョノ・インドネシア大統領補佐官の来日
3. 22日朝刊から
 - 国民会議訪中団の共同声明
 - 沖縄核抜き保証、ロジャーズ書簡で
4. 一面トップ記事(20日夕刊~22日朝刊)

要任
カ
室

／＼アタリ大臣記者会見（20日、臨時閣議後）

（大臣） 今日急遽臨時閣議を召集するということになり、中村国家公安委員長より昨日の経過につき詳細な報告があつた。その報告に基き総理大臣の談話を発表することになった。談話の要旨は、火えんぴん等を使つて市民生活をおびやかすことは断じて許せない行為であり、政府としては市民生活の安全を保つために必要な諸対策をとる考であるので、国民各位の御理解と御協力を得たいとの趣旨だ。それに対して各閣僚から名論たゞ説が続出して約1時間かかつた。例えば学校をかじ取りしているのはどういう訳かとか、テレビで見ていると先生らしき者が高校生をゆう導しているのはどういう訳かとかいろいろ出た。結論はとにかく有効な措置をとるといふことで、官房長官が中心となつてその措置を進め、談話は原案通りに決まつた。

臨時閣議後、私と通産大臣とが会つて、2、3日前ごろから話していたことだが、日米せん維交渉がうまく進んでいないので、早く政府間協定を進める必要があり、交渉の場所をワシントンとし、専門家を派遣することになった。もつとも専門家の主力部隊は通産から昨日出発している。ワシントンの大使館にも専門家がいるので、その部隊ときゆう合して、協定作成の努力を積んで、到着次第直ちに交渉に入ることになる。今月のうちと思つていたのだが、

それは少し難かしいような状況だ。月を越しそうだが、何日ごろになるか、やつてみなければ判らない。

国会の情勢は今朝幹事長にも国対委員長にも会つて様子を聞いてみたが、今日とはにか、各党の委員長とできるだけ接触を計ることに努力するといふことを言つており、これは幹事長、国対委員長に任せるより外ない。

（問） 有効な措置とはどういうことか。

（答） 火えんぴんとか鉄パイプ爆弾について何か特殊な立法が考えられるかどうか等名論たゞ説がいろいろ出ているので、幹事長のところでそれらを整理することになっている。いずれにせよ、断じて許すべからざる行為であると言つた以上、何らかのステップはとらなければならぬ。やり方は相当難かしいようだが……

（問） 大臣は総理と会われた後、極めて不愉快ななおつきで出て来られたとのことだが。

（答） しよつちゆうそういかおをしている。かおは直すわけにはいかない。

（問） 通産大臣とはせん維だけか。

（答） そうだ。

（問） 総理とはどの位話されたのか。

（答） 15分位だ。

（問） 学生対策で自衛隊の出動といつたことは話しに出

なかつたのか。

(答) そういう議論は出なかつた。

(問) 幹事長は今日は国会を開会するような様子だつたか。

(答) まだそこまでは割り切っていないようだ。今日はまあゆう方まではのんびりしてもいいだろう。

(問) 党内はどうか。

(答) 党内はいい。一致団結だ。

(問) 職権開会はもう12時だから無理のようだが。

(答) 2時開会は無理だろう。毎日毎日こうやっているともなあきに来る。ヤレヤレとだれか火をつけるとなるのだが、そのへんのみどころが難しい。

(問) 共産党は出席しそいか。

(答) さあ、自共共闘かな。

(問) 民社党は軟化してきたか。

(答) まだ軟化していない。

2. 記事資料 (20日)

○スジロノ・インドネシア大統領補さ官の来日

インドネシア大統領補さ官スジロノ・フマルダニ (SU DJONO HUMARDANI) 陸軍少将は、11月24日より同月30日まで外務省賓客として来日し、滞日中

わが国政・財界要人と日本・インドネシア両国関係に関する事項等につき意見の交換を行なう予定である。

3. 22日朝刊から

○国民会議訪中国の共同声明

【北京ニ共同】中国を訪問中のアスカダ・カズオ横ハマ市長を団長とする日中国交回復国民会議訪中代表団は、20日午後10時(日本時間同日午後11時)北京の北京はんとんで中国の中日友好協会代表団(王国権団長)との間で共同声明に調印した。

この声明は、中国が国連での合法的な権利を回復したあと、日中間で出される最初の声明であり、(1)日中の国交回復の具体的な手順を明確に打出している、(2)日本側は中国をゆい一の政府、台湾は中国の領土であることを認めただけでなく、これを実現するための闘争を進めることを^{表明}決意している、(3)共同声明の中でオキナワ問題について、項目を設け、日中双方がオキナワの重要性を強調したことが特しよである。

特に今後、日中の国交を回復するためには、まず日本政府が日台条約を破棄し、中国との戦争状態を終結して日中国交を回復、不可侵条約を含む平和条約の締結という具体的な過程が必要であることを明らかにし、日中双方がこれ

に合意したことは、日中国交回復の動きがこれまでよりさらに一歩進み、具体的になつてきたことを示すものとして注目される。

共同声明の要旨次のとおり。

一、日本側は中華人民共和国の国連におけるあらゆる合法的権利が回復され、シウカイ石薬団の代表が追放されたことに熱れつなしゆゑ意を表わし、中国側はこれを感謝した。

二、日中国交回復は、日中両国人民共通の願ひである。しかし、サトウ政府は「かんして中国を敵視『二つの中国』と『一つの中国、一つの台湾』をつくり出すいん謀を進め、台湾独立を画策、台湾の帰属未定をさげんでいる。これは日中国交回復のゆゆしい障害であり、日中国交がいまなお回復していない責任がサトウ政府の側にある。

三、中国側は次のように強く指摘した。中華人民共和国政府は中国のゆい一の合法政府であり台湾省は中華人民共和国領土の不可分の一部であり台湾人民は中国人民のチを分けた同ほうである。日本軍国主義はかつて台湾を50年間不法占領したが、第2次世界大戦後日本が降ふゑしたさい、カイロ宣言とポツダム宣言に基づき、すでに台湾を中国に返かんした。いわゆる『台湾帰属未定』という誤つた論調は、歴史的事実に完全にそむゑものである。台湾解放は

中国の内政問題で、いかなる外国も干渉できない。『日ソウ講和条約』は不法、無効であり、必ず廃棄されなければならない。中国人民は必ず台湾を解放する。(この項中国通信)

四、日本側は中国のこうした敵正な立場を断固支持することを表明。日中国交回復国民会議は広範な日本人民と一しよに、日本政府に日台条約の破棄、中国との戦争状態の終結、日中国交の回復、平和条約の締結を強ゑ要求し、またこの闘争を進めることを決意した。中国側はこれに支持と感謝の意を表明した。

五、米日反動派はオキナワ返かんのペニルのもとに一段と軍事結託ヲ強めている。たたかいの最前線に立つオキナワ人民と、広範な日本人民はオキナワ返かんのペテンを暴ろし、紛さいするため、ゆりかんな闘争を進めている。オキナワ返かんのペテン反対を中心とする日本全土にわたる大衆運動は、アジアの平和にとって重要な要素である。(毎日)

○オキナワ核ぬきの保証、ロジャニズ書簡で

政府筋が2日明らかにしたところによると、返かん時にオキナワに核がないことを確認する方法として、返かんにさいしてロジャニズ米国務長官が核ぬきを保証する書簡を寄せることが最有力となり、フクダ外相が近ゑマイヤニ

駐日米大使と会談して正式に要請する。

これについて政府は、すでに米側との打しんで、ある程度の感触を得ているので、この点で合意ができれば自信を深めている。しかし、オキナワの核ぬきをめぐっては、野党側はさらに核基地の点検、撤去のさいの安全対策を要求しているが、これらについては核兵器の戦略上の機密から米側を信頼するしかないとする政府の態度は変っていない。したがって、今後の国会審議で野党側はなお「核ぬき」の明確な保証を迫ることとなる。

衆院オキナワ返かん協定特別委員会での強行採決で生じた国会混乱の取しゆう策の一つとして「オキナワの核不存在」と「基地の整理縮小」を国会で決議する方向となつたのにともない。政府は2/日午後、首相官邸にタケシタ官房長官、西村防衛庁長官や外務省のヨシノ、アメリカ局長、イガワ条約局長らが集つて今後の対応策を協議した。政府筋によると、決議案に盛り込まれる予定の「オキナワ返かん時に適切な手段をもつて核がオキナワに存在しないことを明らかにすべきだ」という内容に対応する方法として米政府首のうの声明が最善と判断された。

その場合、ニクソン米大統領の声明を要請する案も考えられるが、ニクソン氏は「昨年11月のサトウ首相との共同声明第8項でオキナワの核ぬきを「約束」したとされて

いるので、そのうえ声明を要請することは外交上得策でない」と外務省はみている。そこで最有力な案としてうかび上がったのはロジャーズ長官の書簡あるいは声明だ。

同長官は日本国民の特殊な感情も理解していることから、要請に応じてくれるとみているからだ。

また、書簡になるか声明になるかについては、返かんの時点に「オキナワの核兵器は撤去された」という書簡を日本側が公表する方法が、単なる声明より「外交文書」として残るという意味で一番はつきりした確認になるとの判断が強まっている。

一方、「返かん後も核を持込ませないための措置」については、非核三原則の順守は政府の基本政策であることと、そのうえ国会決議でもこのことが確認されるわけだから、事前協議での核の持込みを米側から万が一要請されることがあつても、「「ノー」ということに疑いの余地はない」とする態度である。(朝日)

4. 一面トップ記事

(20日ゆう刊)

各紙「オキナワ国会は20日の議長職権による衆院本会議をめぐって、重大な局面を迎えた。政府・自民党首のうは、同日の本会議で、オキナワ返かん協定承認案件の審議

を強行する方針だが、これにきびしくてい抗する野党は、審議拒否、本会議欠席の態度を同日朝も再確認。自民党側は、野党側が本会議に応じない場合は、単独審議もやむを得ないとする意向であるが、これからの国会運営上、野党の引き出しに全力をあげている。

日経「政府は30日から2日間ロンドンで開く10カ国蔵相会議で通貨問題の話し合いがかなり進展し、場合によってはいつきよに決着する可能性もあり得るとの期待を強めている。蔵相会議に先立ち開かれる同代理会議には、自国通貨のレート調整はばも含め、ハジを固めて会議に臨んでほしい(オックスン議長)との意向が伝えられたことによる。政府首のうは、このため円切り上げはばについて蔵相会議前に決断を下す必要に迫られており、早期決着がわが国に有利との判断から、2.5%を上回る円切上げもやむを得ない」という線に固まる公算。

(2/日朝刊)

各紙「空転を続けていたオキナワ国会は、20日あるが、アサが衆院議長のあつせんで自民、社会、公明、民社の4党幹事長、書記長会議が開かれた結果、(1)22日に衆院オキナワ返かん協定特別委で補足質疑をする(2)24日に本会議を開いて核撤去、基地縮小の要望決議をし、返かん協定案件を採決する」ということとで事態収しゆう

のメドがついた。この結果、同々の議長職権による衆院本会議は開かれないことになり、自民党の単独強行審議は回避されたが、社、共両党は収しゆう案をのみ難いとして特別委、本会議とも欠席の構えをとっている。また円満解決にはいたっていない。しかし政府、自民党は、返かん協定の24日衆院通過によつて自然承認に必要な条件は確実となつたとしている。

日経「政府筋によると、米政府は、平価調整以外の日米経済案件の協議は、当分、先上げにする」との方針を示し、通貨調整の年内解決が日米間の問題としても最ゆう先項目であることを通告してきた。

(ニヤント) 事実無根である(経済局)

日経「農りん省、新しい農政の指針づくりへ、このため農業基本法を全面的に手直しして、国際競争力のある農業への再編成など検討」

サンケイ「2/日の日より日に、東京・多マ地区の25市町村で、1日にノカ運動実施。1さん化たん案、30%減る」

その他各紙「国会は衆院議長あつせんによる収しゆう案も自民、公明、民社各党が受だぐしたことにより変則的ながら審議再開にこぎつけ、オキナワ協定承認案件は衆院本会議で承認可決される見通し。

しかも取しゆう条件となつている『非核3原則』がオキ
 ナワ米軍基地の縮小のむねを非核決議案を24日の
 衆院本会議で可決することについて、取しゆうに反対する
 社会党が21日、独自の対案を出すことを決めたため、本
 会議における決議は全会一致で、という建て前上、非核決
 議案が可決されない事態も予想される。公明、民社両党は
 返かん協定への審議参加には非核決議案の本会議可決を
 前提としているため、決議実現の見通しがつかなければ、
 24日の本会議には出席しないとの態度。

〔注〕 22日10時すぎ衆院返かん協定特別委が社共欠
 席のまま再開された。

〔了〕

一般情報

課長	1	2	3	4
第2	7	2	号	7
防	防	防	防	防
防	防	防	防	防

昭和46年11月26日

アメリカ局ブリーフィング(24日)

福田・マイヤー会談

2. 福田大臣記者会見(25日)

3. 25日朝刊から

○ 外務省研修所に時限爆弾

4. 25日夕刊から

○ 沖縄海洋博に許可

5. 一面トップ記事(25日夕刊)

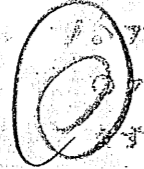
6. 人 事(26日付)

7. 26日朝刊から

○ 民社訪米使節団

○ 行政改革懇談会

8. 一面トップ記事(26日朝刊)



1. アメリカ局ブリーフ (24日)

2. アメリカ議会

まず今日の閣議の内容を大臣からマヤ大使に伝えた。

核については、米側もオキナワ返かん時に核をなくすということを言明しているし、また将来の問題は事前協議でチェックできるようになっているのだから、理論的にはこれで十分であるが、さらに日本政府としては更に核の撤去について米政府の承諾を得る何らかの方法を米側として考えてほしい旨米側に申入れた。

基地の縮小については、これまでに米大臣がコナリ長官やジョンソン次官に再三要請してきたところであるが、今回の国会の演説もあるので、更にオキナワの基地の縮小について、努力してほしいと米側に伝えた。ことに人口の多い密地帯にある基地や米軍のどちらか施設について減らすことを考慮してほしいと伝えた。また大臣は返かん日をなるべく早く実現してほしい旨も述べた。即ち、日本政府としては前から4月1日返かんということを主張しているのだから、米側としても準備を早くすすめて、4月1日に返かんが実現するよう協力してほしいとの趣旨である。

(問) 大臣の要請に対してマヤ大使の反応はどうか

(答) マヤ大使のほうはこの問題については以前から承知していることがらでもあり、もつぱら聞き役にまわった。

(問) 基地をへらさなければならぬということをマヤ大使がいつたのか。

(答) マヤ大使はただ要請のあったことを早速本国政府に伝えるとの反応であつた。

(問) 返かんが4月1日より早まることはありえるか。

(答) 4月1日というのが日本政府の希望であり、米側の準備が整わないために返かんが遅れるというよりなことがないようしてもらいたいと伝えた。

(問) 核の撤去について協力して呉れということはおもう象的な形でもかいはなかつたのか。それとも交換公文をかかずなど具体的に要請したのか。

(答) 具体的なことはいわなかつたが大臣御自身が国会で答弁しているように大統領の声明か、日本政府に対する米政府の通告というよりなはつきりした形をとつてほしいということも伝えた。

(問) 大統領声明か、日本政府に対する通告を出すということについてマヤ大使は同意したのか。

(答) その線で努力することを約した。

(問) 大臣の方で4月7日に返かんを實現してそれということをいつたとのことであるが、米側が4月7日返かんに同意した場合、日本側は大じよう夫か。

(答) 日本の官庁のことであるから、徹夜でもなんでもして4月7日に返かんといえればこれに間に合やすことはできないことはないであろう。

(問) 相手に対して準備が整わないために返かん期日が遅れることがないようにしてもらいたいといつた以上、こちら側の準備が遅れないようにするのは当然ではないか。

(答) そのとおりである。しかし今のところ、防衛施設庁等の意見によると、米側の受入れ準備が遅れており、また施政権の返かん準備も第二段階もまだ確実にやっていないという現状であるので、これらの点を含めてしつかりやってもらいたいということを要請したのである。

2. フクダ大臣記者会見 (25日、総理と会談後)

(大臣) 今朝、総理官ていにオキナワ復帰促進団体のオオタ元主席他男女せい年が総理を激励したいということで訪れ、私はそれに立会った。非常によることでなみだを流すせい年子女もいた。

その後、総理に、印パ情勢につき総理が非常に心配し

ておられるので、入手した情報を伝え、昨日打電した印パ両国首のうに対する総理の親電について話をした。国連に対しては、わが方としては何んとかして国連のぶ合でこの問題の平和解決にこぎけんすべきだとの主張を展開しており、その主張の際に、印パ紛争のはい景として、パキスタンの7千万人の難民がインドに流れ込んでいるが、そのパキスタンのひん困という問題、またその難民流入に伴いインドのこうむる損害があり、この難民問題を解決しなければ印パ問題は解決できないのではないかという認識に立つて、力あるものがこの解決に協力してぎせいを分担し合つて解決にあたるべきであるということを当方の主張としたいと述べ、(総理は)それは大変結構であるということであつた。今朝の公電で特徴的なことは、インド側がパキスタンに対して攻撃を開始したことをガンジ首相が国会で初めて公式に明らかにしたことであるが、ただしそれはあくまで自衛的措置であり自衛的目的以外の戦闘行動は今後もとらないということをつけ加えている。

昨ゆう、マイヤ大使と会い同決議を示し、オキナワ問題、めぐる政治情勢を話し、これに対し協力を求めた。同時に返かんのための準備とくに23について取急いてもらいたいと申し入れ、先方においても準備状況をチェックしてもらいたい、わが方もチェックすると言つたところ大使

もそうすると答えていた。その報告も（総理に）した。

（問） 難民問題で国連の場においてわが国が発言するにしてももつと金を出さなければという声もあるが。

（大臣） どの国がいち早く出すということは大体きまつている。この金をみなさんが出さなければこの問題は解決しませんよというよびかけをしようということだ。

（問） ジョージア報道官がエクソンのフランス訪問に関連して他の友好国首のとも会うことになるのではないかと示しているがエクソンあるいは主要閣僚の訪日の話は出ていないか。

（大臣） まだ出ていない。

（問） 今でもエクソン大統領が来年早々にでも来るということは考えられないか。

（大臣） 今のところ訪日はなかなか難しいのではないだろうか。

（問） タケシタ長官はエクソンのサトウ会議は先ずないだろうが他の閣僚レベルの接触があるのではないかと問われているが。

（大臣） それは具体化していないが、（エクソンが）中国に行き前には緊密な連絡をとって行きたいし、また訪中後のフオロアップについても万全の備えをとりたいと考えている。

（問） 予算審議が始まると閣僚がぬけるのが難かしくなるのではないか。

（大臣） 何時始まるかということだが重要な会議だから1、2日のことは国会が良識を発きすることもなしとはしないだろう。そのへんはまだつめていない。

（問） エクソンの訪仏は通貨問題か。

（大臣） 一つはそうではないかな。それからやはり訪中も訪ソということもあるということではないか。

（問） 昨日の総理のマイヤ会談について。

（大臣） 協定が通つておめでとよということだ。

3の25日朝刊から

○外務省研修所に時限爆弾

24日午後2時50分ごろ、文京区大塚の外務省研修所（小島太作所長）の新館げん問わきのしば生の上に、黒い紙包みがあるのをにわそう除中の作業員が見つけた。

大塚カ署で調べたところ中には手製の時限爆破装置とみん電ちう本のピニールテープをまきつけた直けい4の3センチの長さ、4の8センチのぼう状のものが電線をつながれていた。分解したところ、ボール紙のつつにピクリンさんらしいきいろい粉末約百グラムが詰められており、電気らい管が付いていた。時限装置も完全に作動しており、問

署は因縁の接触不良からい管の故障のため爆発しなかつたとみている。

17日、自黒五本木派出所にしかけられ爆発した時、限装置付き手製爆弾と構造がにており、同署と警視的公安部は過激派の犯行とみてそう査している。(毎日)

4の25日ゆり刊から

○オキナワ海洋はぐに許可

通産省は昭和50年開催を目標に、復帰後のオキナワをふ合に世界で初めてという国際海洋はぐらん会の開催申請をマリのはぐらん会国際事務局に出していたが、25日、同事務局から外務省を通じ正式に開催許可の通知が届いた。今後4ヵ月間に他国の競合申請がなければ万国はぐに就いて正式の国際はぐ開催が決定する。通産省の話では各国の競合申請はない見通しである。

同はぐらん会については政府は10月22日に閣議決定したが、これまでにまとめた計画によると、会期は75年3月から半年間、開催地はオキナワ北部の本部半島、中部の藤原村、南部のイナガチの三つがこう補にあがっている。近々リムウキ政府が主体になって正式決定する。また、通産省では8日、省内に国際海洋はぐらん会準備室を設け、細目の決定を急いでおり、はぐらん会協会を

年内にも発足させたい意向だ。

オキナワ現地でもマシ主席が中心になり、来月1日オキナワ国際海洋はぐらん会推進本部を設ける予定。(日経)

5の一面トップ記事(25日ゆり刊)

朝日、毎日「NXT特派員ニキヨウ中国代表は24日、国連総会本会議でソ連が提案している世界軍縮会議開催問題について約30分間演説した。キヨウ代表は、米ソの核独占政策を強く非難し、ソ連提案の世界軍縮会議案は核兵器の完全廃棄を目標としたものではなく、軍拡のための時間かせぎと批判して反対を表明し、今総会ではソ連決議案を表決によさぬよう提案した。これに対し、マリケソ連代表は「中国代表は事実をねじまげて帝国主義者にほうし」とはげしく反論し、あからさまに中ソ対決の構えをみせた」

読売「ワシントン特派員ニ米政府、ニクソン大統領とポンドロニ大統領との会談の発表に続き、ブライント西独首相、ヒュース英首相との会談も発表する予定。西側の結束強化、欧州3国首のうとの会談では、訪中、訪ソによる共産圏との緊張緩和政策について了解をとり、通貨問題を中心とする経済問題についても話を進めることになる。

当地外交筋の間には、エグゼン大統領がさらにサトウ首相とも会談するのではないかとの観測が喧まづているが、日本大使館筋は今のところ米政府からなんの打しんもないと語る。ホワイトハウスでは24日の「当面、サトウ首相との会談は考慮していないが、将来ないとはいえない」と微みような説明をしている。

日経「ワシントン特派員」米仏首の会談は通貨交渉の進展に重要な意味を持つてこよりの観測が当地で高まづており、米政府首のうは年内解決のハテを固めたのではないかとの見方強まる。米は十カ国蔵相会議に新提案か、蔵相会議で前進したあとをうけて米仏間でさらにつめるとの見方が強い。

東京「ワシントンとパリの特派員がアレックス会議（パリ）中首のうとの三極外交の展開に先立ちエグゼンの側から拡大欧州の理解と協力を求めてきた点をフランスは強調。（ワシントン）通貨で直接談判へ」

サンケイ「ワシントン特派員」エグゼン訪中をひかえ、その事前協議としてサトウ・エグゼン会談が来年早々にも開かれる見通しが強まる。エグゼン大統領は米仏会談をかわ切りに「訪中、訪ソ前に同盟諸国と協議を行なう」予定であり、日米首のう会談もその「かん」として開かれよう。

（注）タウゼンタ官房長官は25日の記者会見で、「サトウ

ウ・エグゼン会談の可能性はいまのところない」と述べた。

6の人事（26日付）

兼ウガンダ駐さつ

ウニア兼マラウイ大使 ナカネ・マサキ

タンザニア国独立十しゆう年記念式典に参列する特派大使

衆議院議員

カトウ・ツネタロウ

7の24日朝刊から

○民社訪米使節団

民社党は25日の中執委で、春日委員長を団長とする訪米使節団の派遣を正式に決めた。一行は29日出発、ロジャース國務長官、キッシンジャー大統領補さ官ら米政府首のうやブルブライト、マンズフィールド氏ら上院の指導的立場にある議員と会談、来月5日ごろ帰国の予定。

同党はこれらの会談を通じて、中国問題、とくに台湾の処遇や、朝鮮問題に対する米国の真意を確かめたいとしている。（講究）

○行政改革懇談会

経済団体連合会など経済界団体でつくっている行政改革

とん議会在25日、経団連会館で開かれ、行政監理委員会委員を辞任した安西正夫昭和電工会長、アソオのイナヤマ、キッソン商事副社長から行政改革の進め方などを聞いた。

席上、阿氏は「在任中積極的なことは何一つ出来なかつた」と述べ、(1)専任の担当大臣を置く(2)行政改革にブレをきかしている各省事務次官で構成する行政改革推進本部を廃止し、行監委の力が直ちに閣議の場に上げられるようにする(3)行監委の事務体制を強化するなどの必要性を強調した。(朝日)

8月1日朝日新聞記事(26日朝刊)

朝日「変則運営を続ける国会では、26日午後の衆議本会議に社会党が提出した正副議長不信任案がかかるのにもなつて、社会、共産両党も審議に応ずる方向であり、総論はひとまず正常化に向ふ。社会党は25日午後不信任決議案を提出した。共産党は賛成の態度を明らかにしているが、公明、民社両党は棄権する方針を決めた」

毎日「サトウ首相、アソオ外相ら政府首のらは25日、来年早々にも中国問題を中心議題とした日米の外相級会談を開く方針を決め、その具体的日程について米側との打合せに入った。これは2、3月に予想されるキッソン訪中

に先立つて中国政策について意見を調整しようというもので、アソオ外相が訪米するか、ロジャーズ國務長官あるいはキッソンが補さ官が来日するかは、今後の打合せの結果決まる。同時にこの外相級会談でオキナワ返らん期日が最終的に固まるとみられている」

東京「政府筋が25日明らかにしたところによると、米政府は日本政府に対し、キッソン米大統領が来年3月前半の訪中する」と事前通告してきた」

次号の大臣記者会見参照

読売、サンケイ「自民党のオカソネ総務会長は25日(1)中国をゆいの一の正統政府と認め(2)正式かつ全面的な平和条約を締結し(3)国交の正常化と戦争状態の終結をはかるべきだ(4)この認識のもとに今国会で日中決議案を成立させたい」と提言した。また同党のオサカ政調会長も同日、決議案に「中国はゆいの一の正統政府」という表現を入れてもよい」という意向を明らかにした。

自民党3役のうち2役が前向きな考え方を表明したのは、日中決議案を野党案に寄せてでも成立させようという執行部の意向を示したものとみられる(サンケイ)

与党首のらが「ゆい」の平和条約、戦争終結などを内容とする決議の今国会実現の意向を明らかにしたのは初めて。しかし日中議連の与野党議員などには日台条約の廃棄

まで含まねば無意味との意見があり、この点は自民党首の
 うが反対のため、与党内調整および与野党せつしましはな
 おきよせつが予想される。

日経「政府は30日からの十カ国蔵相会議を前に円の切
 上げはばをどうするか最終的つめを急いでいるが、全体と
 して(1)米國が輸入課徴金を撤廃したり、欧州諸國が応
 分の負担をすることが明らかになれば円の基準レートを
 4→5%切上げる(2)米國と欧州の調整はばが不十分
 てあれば基準レートの上げはばは1.2%以内にとどめる
 ……との方向に固まつてきた。こうした情勢からみて、
 蔵相が各國の出方に応じた敬案を用意して会議に臨む公算
 強まる。

(7)

秘
無 類 懸

条約部長 安全保障部長
 アメリカ局長 参事官
 北米局長

通商協定の案読
 46.12.20
 米北

20日在京米大江三ツツ川 米北1位後
 に対し、本國政府の訓令によつて、通
 商協定により日米側が負つてゐる義務を日米
 側が向違なく履行する体制にたつてゐるかを
 承知した上で、21日午後17時日米側の席
 原着の活と打つ…各申入本題13。その
 際、…は、本件閣議は、…の…会議と
 の…で行うものであり、米側としては日米

GA-6

右会議で…内閣が…の…

側が通還協定に定めた義務を履行

するに^上確認 (FEBI 等企業の問題も

含む) において^{人件費がある}との懸念によるものであ

る旨を言いました。

また、本側における体制についても

承知しておく必要があるので、二点について

留意をたいせうを希望しておいた。

(今後については本北|においてアング

ル等)